第13話

痛くないカテーテル 方法「膀胱瘻」

前立腺肥大症による尿閉 (尿がまったくでなくなること) で悩んでいる江川さん (88歳・男性) が主人公です。このケースに効果的な治療法 「膀胱瘻」 のことを学びましょう。

作・奥井識仁 まんが・天星 玲





























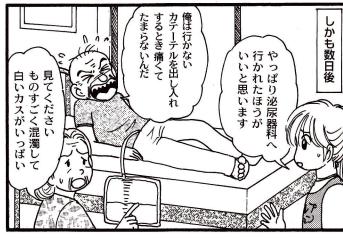






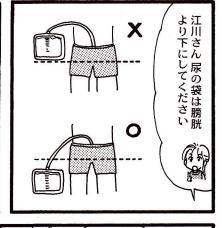
(注)ほんとうは入れます。江川さんがかん違いしているのです (奥井)











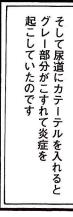


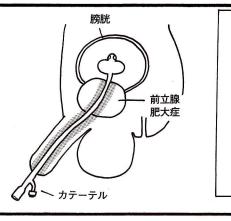




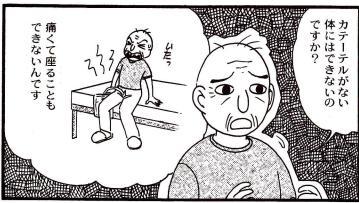


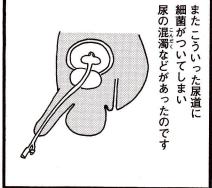


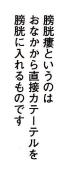


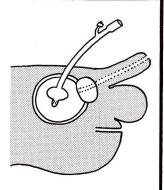












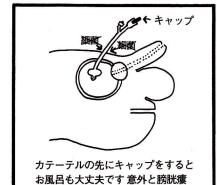


これは以前から分かっていました

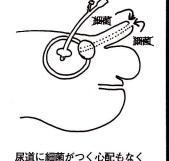
病名は前立腺肥大症です

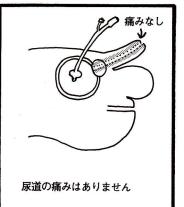
そのために尿が出なかったのです



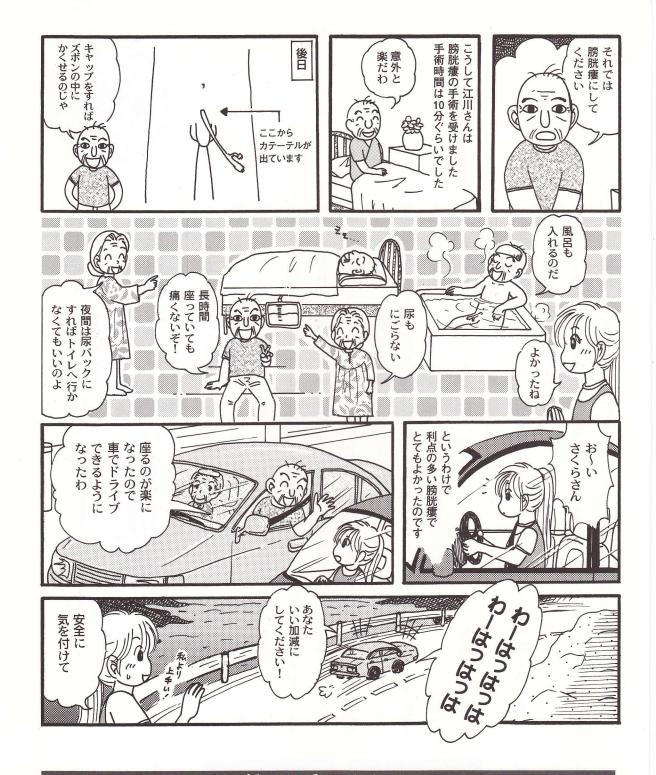


からは細菌は入りません





尿道に細菌がつく心配もなく 長期間安定しています



第13話 まとめ

尿閉で長い間悩んでいた江川さんも「膀胱瘻」にすることで、以前より快適な日常生活を送れることになりました。すべての人に有効ということではありませんが、このケースのようになんらかの事情があって大きな手術ができない人には効果的です。



痛くないカテ **万法 『膀胱瘻**』

①前立腺肥大症や前立腺がん、尿道狭窄などが原因で、尿路に通過障害があり高度

も家族でもそれができない場合は持続留置カテーテルを選択するしかありません。 を出さなければなりません。最も理想的なのは第4話の間欠的導尿法ですが、自分で で治療できず、手術もできないときには、カテーテル(おしっこのくだ)を使って尿

けの全身麻酔の組み合わせで、短時間でできます。 さな穴をあけて、カテーテルを膀胱の中に直接入れるものですが、局所麻酔と眠るだ 長期の持続カテーテル留置をどうしても選択せざるをえない場合に、よいのが膀胱瘻 です。膀胱瘻とは、へその10センチほど下のおなかの真ん中に5ミリくらいの針で小 は感染を繰り返し、将来的に尿道潰瘍を生じて、ペニスが壊死することもあります。 ずっと尿道にカテーテルが入っていると強い痛みを訴える人が多く、ひどい場合に

尿バッグを接続して流しっぱなしにし、ぐっすり眠るのもいい方法です。

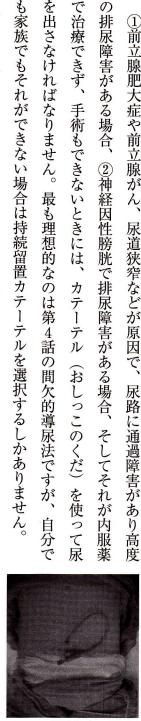
にも膀胱瘻は有効です。昼間は膀胱瘻にキャップをして尿がたまったらキャップをはずすようにし、夜間は

また、萎縮膀胱のため高度の頻尿である、もしくは高度の夜間頻尿で夜眠ることができない、という場合

このままで風呂に入り、ふつうの下着を着けます。消毒やガーゼや固定の絆創膏は不要です。



女性の方



男性の方